

サウルの時代



(イスラエルとペリシテの戦い)

- 士師記
- ***** 士師シャムガルとペリシテ人 *****
- 3.31 エフデのあとにアナテの子シャムガルが起こり、牛の突き棒でペリシテ人六百人を打った。彼もまたイスラエルを救った。
- ***** 士師サムソンとペリシテ人 *****
- 13.01 イスラエル人はまた、主の目の前に悪を行ったので、主は四十年間、彼らをペリシテ人の手に渡された。
- 15.14 サムソンがレヒに来たとき、ペリシテ人は大声をあげて彼に近づいた。すると、主の霊が激しく彼の上を下り、彼の腕にかかっていた綱は火のついた亜麻糸のようになって、そのなわめが手から解け落ちた。
- 15.20 こうして、サムソンはペリシテ人の時代に二十年間、イスラエルをさばいた。
- 16.28 サムソンは主に呼ばわって言った。「神、主よ。どうぞ、私を御心に留めてください。ああ、神よ。どうぞ、この一時でも、私を強めてください。私の二つの目のために、もう一度ペリシテ人に復讐したいのです。」
- ***** サムエルとペリシテ人 *****
- 1サム
- 4.01 サムエルのことばが全イスラエルに行き渡ったころ、イスラエルはペリシテ人を迎え撃つために戦いに出て、エベン・エゼルあたりに陣を敷いた。ペリシテ人はアフエクに陣を敷いた。
- 4.02 ペリシテ人はイスラエルを迎え撃つ陣ぞなえをした。戦いが始まると、イスラエルはペリシテ人に打ち負かされ、約四千人が野の陣地で打たれた。
- ***** 神の箱、ペリシテ人の手に *****
- 4.10 こうしてペリシテ人は戦ったので、イスラエルは打ち負かされ、おのおの自分たちの天幕に逃げた。そのとき、非常に激しい疫病が起こり、イスラエルの歩兵三万人が倒れた。
- 4.11 神の箱は奪われ、エリのふたりの息子、ホフニとピネハスは死んだ。
- 4.18 彼が神の箱のことを告げるとき、エリはその席から門のそばにあおむけに落ち、首を折って死んだ。年寄りて、からだが重かったからである。彼は四十年間、イスラエルをさばいた。
- ***** 神の箱、ペリシテ人より戻る *****
- 5.11 そこで彼らは人をやり、ペリシテ人の領土を全部集めて、「イスラエルの神の箱を送って、もとの所に戻っていただきましょう。私たちと、この民とを殺すことがないように」と言った。町中に死の恐慌があったからである。神の手は、そこに非常に重くのしかかっていた。
- 5.12 死ななかった者も腫物で打たれ、町の叫び声は天にまで上った。
- ***** サムエルとペリシテ人2 *****
- 7.10 サムエルが全焼のいけにえをささげていたとき、ペリシテ人がイスラエルと戦おうとして近づいて来たが、主はその日、ペリシテ人の上に、大きな雷鳴をとどろかせ、彼らをかき乱したので、彼らはイスラエル人に打ち負かされた。
- 7.11 イスラエルの人々は、ミツパから出て、ペリシテ人を追い、彼らを打って、ベテ・カルの下にまで行った。
- 7.12 そこでサムエルは一つの石を取り、それをミツパとシェンの間に置き、それにエベン・エゼルという名をつけ、「ここまで主が私たちを助けてくださった」と言った。
- 7.13 こうしてペリシテ人は征服され、二度とイスラエルの領内に、入って来なかった。サムエルの生きている間、主の手がペリシテ人を防いでいた。
- 7.14 ペリシテ人がイスラエルから奪った町々は、エクロンからガテまで、イスラエルに戻った。イスラエルはペリシテ人の手から、領土を解放した。そのころ、イスラエル人とエモリ人の間には平和があった。
- ***** サウル王とペリシテ人 *****
- 13.01 サウルは三十歳で王となり、十二年間イスラエルの王であった。
- 13.02 サウルはイスラエルから三千人を選んだ。二千人はサウルとともにミクマスとベテルの山地におり、千人はヨナタンとともにベニヤミンのギブアにいた。残りの民は、それぞれ自分の天幕に帰した。
- 13.03 ヨナタンはゲバにいたペリシテ人の守備隊長を打ち殺した。ペリシテ人はこれを聞いた。サウルは国中に角笛を吹き鳴らし、「ヘブル人よ。聞け」と言わせた。
- 13.04 イスラエル人はみな、サウルがペリシテ人の守備隊長を打ち、イスラエルがペリシテ人の恨みを買った、ということを知った。こうして民はギルガルのサウルのもとに集まった。
- 13.05 ペリシテ人もイスラエル人と戦うために集まった。戦車三万、騎兵六千、それに海辺の砂のように多い民であった。彼らは上って来て、ベテ・アベンの東、ミクマスに陣を敷いた。
- ***** ヨナタンとペリシテ人 *****
- 13.16 サウルと、その子ヨナタン、および彼らとともにいた民は、ベニヤミンのゲバにとどまった。ペリシテ人はミクマスに陣を敷いていた。
- 14.08 ヨナタンは言った。「今われわれは、あの者どものもとに渡って行って、彼らの前に身を現すのだ。
- 14.13 ヨナタンは手足を使ってよじのぼり、道具持ちもあとに続いた。ペリシテ人はヨナタンの前に倒れ、道具持ちがそのあとから彼らを打ち殺した。
- ***** サウル王とペリシテ人2 *****
- 14.18 サウルはアヒヤに言った。「神の箱を持って来なさい。」神の箱は、その日、イスラエル人の間にあったからである。
- 14.19 サウルが祭司とまだ話しているうちに、ペリシテ人の陣営の騒動は、ますます大きくなっていった。そこでサウルは祭司に、「もう手をしまいなさい」と言った。
- 14.20 サウルと、彼とともにいた民がみな、集まって戦場に行くとき、そこでは剣をもって同士打ちをしており、非常に大恐慌が起こっていた。
- 14.21 それまでペリシテ人につき、彼らといっしょに陣営に上って来ていたヘブル人も転じて、サウルとヨナタンとともにいるイスラエル人の側につくようになった。
- 14.22 また、エフライムの山地に隠れていたすべてのイスラエル人も、ペリシテ人が逃げたと聞いて、彼らもまた戦いに加わってペリシテ人に追い追った。
- 14.23 こうしてその日、主はイスラエルを救い、戦いはベテ・アベンに移った。
- 14.45 すると民はサウルに言った。「このような大勝利をイスラエルにもたらしたヨナタンが死ななければならないのですか。絶対にそんなことはありません。主は生きておられます。あの方の髪の毛一本でも地に落ちてはなりません。神が共におられたので、あの方は、きょう、これをなさったのです。」こうして民はヨナタンを救ったので、ヨナタンは死ななかった。
- 14.46 こうして、サウルはペリシテ人を追うのをやめて引き揚げ、ペリシテ人は自分たちの所へ帰って行った。
- 14.47 サウルは、イスラエルの王位を取ってから、周囲のすべての敵と戦った。すなわち、モアブ、アモン人、エドム、ツォバの王たち、ペリシテ人と戦い、どこに行っても彼らを懲らしめた。
- ***** ダビデとペリシテ人・ゴリアテ物語 *****
- 17.01 ペリシテ人は戦いのために軍隊を召集した。彼らはユダのソコに集まり、ソコとアゼカとの間にあるエフェス・ダミムに陣を敷いた。
- 17.02 サウルとイスラエル人は集まって、エラの谷に陣を敷き、ペリシテ人を迎え撃つため、戦いの備えをした。
- 17.03 ペリシテ人は向こう側の山の上に、イスラエル人はこちら側の山の上に、谷を隔てて対峙した。
- 17.04 ときに、ペリシテ人の陣営から、ひとりの代表戦士が出て来た。その名はゴリアテ、ガテの生まれで、その背の高さは

- 17.49 ダビデは袋の中に手を差し入れ、石を一つ取り、石投げでそれを放ち、ペリシテ人の額を打った。石は額に食い込み、彼はうつぶせに倒れた。
- 17.50 こうしてダビデは、石投げと一つの石で、このペリシテ人に勝った。ダビデの手には、一振りの剣もなかったが、このペリシテ人を打ち殺してしまった。
- 17.52 イスラエルとユダの人々は立ち上がり、ときの声をあげて、ペリシテ人をガテに至るまで、エクロンの門まで追った。それでペリシテ人は、シャアラームからガテとエクロンに至る途上で刺し殺されて倒れた。
- *****ダビデとペリシテ人・小規模戦闘*****
- 19.08 それからまた、戦いが起こったが、ダビデは出て行って、ペリシテ人と戦い、彼らを打って大損害を与えた。それで、彼らはダビデの前から逃げた。
- *****ダビデとペリシテ人・ケイラの戦い*****
- 23.05 ダビデとその部下はケイラに行き、ペリシテ人と戦い、彼らの家畜を連れ去り、ペリシテ人を打って大損害を与えた。こうしてダビデはケイラの住民を救った。
- *****ダビデ、ペリシテの王アキシュヘ*****
- 27.01 ダビデは心の中で言った。「私はいつか、いまに、サウルの手によって滅ぼされるだろう。ペリシテ人の地にのがれるよりほかに道はない。そうすれば、サウルは、私をイスラエルの領土内で、くまなく捜すのをあきらめるであろう。こうして私は彼の手からののがれよう。」
- *****イスラエルとペリシテ人の決戦*****
- 28.04 ペリシテ人が集まって、シュネムに来て陣を敷いたので、サウルは全イスラエルを召集して、ギルボアに陣を敷いた。
- 29.01 さて、ペリシテ人は全軍をアフエクに集結し、イスラエル人はイズレエルにある泉のほとりに陣を敷いた。
- 29.11 そこで、ダビデとその部下は、翌朝早く、ペリシテ人の地へ帰って行った。ペリシテ人はイズレエルへ上って行った。
- 31.01 ペリシテ人はイスラエルと戦った。そのとき、イスラエルの人々はペリシテ人の前から逃げ、ギルボア山で刺し殺されて倒れた。
- 31.02 ペリシテ人はサウルとその息子たちに追い迫って、サウルの息子ヨナタン、アビナダブ、マルキ・シユアを打ち殺した。
- *****ダビデとペリシテ人・レファイムの戦い等*****
- 5.18 ペリシテ人は来て、レファイムの谷間に展開した。
- 5.25 ダビデは、主が彼に命じたとおりにし、ゲバからゲゼルに至るまでのペリシテ人を打った。
- 8.01 その後、ダビデはペリシテ人を打って、これを屈服させた。ダビデはメテグ・ハアマをペリシテ人の手から奪った。
- *****ダビデの後期とペリシテ人*****
- 21.15 ペリシテ人はまた、イスラエルに戦いをしかけた。ダビデは自分の家来たちを連れて下り、ペリシテ人と戦ったが、ダビデは疲れていた。
- 21.18 その後、ゴブでまたペリシテ人との戦いがあり、そのとき、フシヤ人シベカイは、ラファの子孫のサフを打ち殺した。
- *****ダビデ三勇士とペリシテ人*****
- 23.08 ダビデの勇士たちの名は次のとおりであった。補佐官のかしら、ハクモニの子ヤシヨブアム。彼は槍をふるって一度に八百人を刺し殺した。
- 23.09 彼の次は、アホアハ人ドドの子エルアザル。ダビデにつく三勇士のひとりであった。彼がペリシテ人の間でそしったとき、ペリシテ人は戦うためにそこに集まった。そこで、イスラエル人は攻め上った。
- 23.10 彼は立ち上がり、自分の手が疲れて、手が剣について離れなくなるまでペリシテ人を打ち殺した。主はその日、大勝利をもたらされ、兵士たちが彼のところに引き返して来たのは、ただ、はぎ取るためであった。
- 23.11 彼の次はハラル人アゲの子シャマ。ペリシテ人が隊をなして集まったとき、そこにはレンズ豆の密生した一つの畑があり、民はペリシテ人の前から逃げたが、
- 23.12 彼はその畑の真ん中に踏みとどまって、これを救い、ペリシテ人を打ち殺した。こうして、主は大勝利をもたらされた。
- *****ソロモンとペリシテ人*****
- 4.21 ソロモンは、大河からペリシテ人の地、さらには、エジプトの国境に至るすべての王国を支配した。これらの王国は、ソロモンの一生の間みつぎものを持って来て、彼に仕えた。

2サム

1列王